



Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ？
何か良いことあった？

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第23号 (2019/10/04) 福長 輝倅

今回のテーマ; ありがとうマダガスカル。これだけは言いたい！マダガスカルの良いところ

福長 輝倅 (FUKUNAGA TERUYUKI)

隊次: 2017年度2次隊

活動国: マダガスカル

赴任地: アンズルベ

(首都から約3時間)

職種: コミュニティ開発

前職: 教師(非常勤/社会科)

出身: 岡山県・岡山市



マダガスカルってどんなところ？

公用語: マダガスカル語・フランス語

人口: 約 2500 万人 (日本の5分の1ほど)

国土: 587, 000 km² (日本より大きい!)

首都: アンタナリボ

宗教: キリスト教及び伝統宗教、

少数派イスラム教

民族: 約 18 部族



① 子供のいいところ - 遊びの天才たち -

日本の子供も好きだけど、マダガスカルの子供もすごい好き。なんせ彼らは面白くて、たくましい!



①もうそうゲーム遊び; 写真の彼らは町の仲良しの子供たち。手にはゲーム機のリモコン。あれ? 家に電気が来ていない家も多いのに? 映像なんて関係ない、イメージで楽しむ!



②絵がうまいマダガスカル; マダガスカル人は絵がうまい。なんせ学校で「絵」の授業、特に絵を真似る授業がある。真似るだけでは想像力がなくなる? んなわけない。



③写真大好き; マダガスカル人はすごくシャイ。だけど、「写真をとって!」のおねだりはすごい。みんなは普通に写るけど、仲いい子供たちは変なポーズ。かわいいでしょ?

② 学校で見えるマダガスカルの良さ - 大人も必死に子供のために -



④給料は保護者から?! ; マダガスカルは多くの先生が正規の教師ではない。給料は保護者から集金で募っている。お金は本当にすくない。しかし一生懸命働いている。彼らは本当にカッコいいと僕は思う。



⑤学校は休日にみんなで建てる; 日本で学校を建てるのは国。マダガスカルで足りなければ住民が立てる。お金は? もちろん住民たちが自分たちで集金。建てるのは? もちろん自分たちで。レンガから作るたくましい大人たち、これぞマダガスカル。



⑥体を使ったきょうけい? 手を伸ばして呪文をかけ合うマダガスカルの人たち。ではなく、疲れれたので体をストレッチ。マダガスカルでは授業中にこんなきょうけいがたくさんある。なぜなら先生たちが勉強しているから。

③ 地域で見つけたマダガスカルの良さ - 田舎の良さは日本も一緒? -



⑦いつでもてんこ盛りご飯を食べていけ；
田舎に行けばすぐ家の中に入れてくれる。ご
飯も出してくれる。行くこともゆってなかったの
に。なんなら普段食べない肉も出してくれる。
お腹いっぱいでも、まだ食べたくなる饑しさ。

⑧お葬式は家族が集まる大切な時間； マダ
ガスカルではとにかくお葬式が多い。お葬式があ
ればみんなお休み。遠いところから何時間もか
けて歩いてくる。関係ない人だって歩いてくる。み
んなに見守られてお墓に入るから寂しくない。

⑨いつでも助けてくれる； マダガスカル
について初めの頃。マダガスカル語もうまく
しゃべれない僕を農家の人が助けくれた。
カギをなくして困る僕を見かねて自転車を
運んでくれた。優しいよ、マダガスカル。

④ 例外へん — マダガスカルの人たちが大好きだ —



⑩最高の同僚； 仕事が忙しくても、僕の
活動の報告を聞いてくれた同僚たち。「今日
元気？→お腹すいた」「日本に飛行機で帰
るのか？→飛行機布巾から泳いで帰るよ」な
んてしようもない会話が、本当に楽しかった。

⑪頑張りよ、ジョゼ； ジョゼは仲良しのガード
マン。会うとお互いの最近のトレーニングについて
話す仲。しかしジョゼは筋肉だけじゃない。英語
を学び機会が少ないマダガスカルで英語をもっと
頑張りたらしい。ジョゼ、次は英語で話そう。

⑫魔法の言葉、チマニヌナ； 彼は穴の
あいた僕の緑のスポンをはいている。「穴空
いてるけどいいの？」と聞くと彼は「チマニヌ
ナ」と応えた。マダガスカル語で「気にすん
な」の意味。マダガスカルではほとんどのこ
とが「チマニヌナ！気にすんな」最高だ。

⑤ 僕がみたかったもの・したいこと — 子供が育つ地域を作る —



いつも変なニュースレターを書いているので最後だけ活動のことを。なんで僕はアフリカに来たのか？ そ
れは、アフリカに僕が日本であってほしい社会の形があるから。なんだそれは？僕は子供が安心して学び
暮らせる社会がいい社会だと思っています。それは大人が子供に関心をもつことで成り立つ社会です。実
際どんな感じ？ マダガスカルでは子供のために補習授業・給食・学校建設を行う大人たちがいました。実際
やっている人からすれば大変です。これを良いとするのは僕のエゴかもしれませんが。ただ、僕はこうやって自分の
子以外の子供のために、大人が一生懸命何かをしてあげることが大事だと思う。モノを買うなら一緒に何か

を作ろう。塾に行かせるなら一緒に本を読もう。子供のために大人が一生懸命な社会、これを見た幸せとこれを実現したい気持ちになりました。

⑤ 日本に帰ってきてからわかること — マダガスカルもいいけど、日本も案外いいぜ —



日本に帰ってくると日本の嫌なところがどうしても目についてしまう。
「みんな忙しそう、歩くの早い、運動してなさそう、良い服着すぎ、子供にスマホ必要？」
けど、反対にいいところも見えてきた。
「こんなに皆やさしかった？」「めっちゃめっちゃクリエイティブ。だって歩けば無限の種類のラー
メン屋さんがある」「丁寧すぎるかもしれんけどサービスすごい」
マダガスカルもいいけど、日本も案外いいもんじゃ。海外に出たことで改めてわかる日本の良
さ。出てみないと気づかない日本の良さ。いや、ラーメンについては前から気づいていた。